

# ちばの地域福祉

## 中核地域生活支援センターの機能と未来

千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会 副会長  
海匝ネットワーク 所長 吉野智

平成16年に千葉県の事業として開始された中核地域生活支援センター（以下、中核センター）も10年目を迎えています。「福祉と暮らしの総合相談」として24時間365日。対象者を限定せず、問題を抱える相談者に寄り添いながら相談支援を展開してきました。中核センターは公の制度からこぼれ落ちてしまう方もすくいあげ、また地域に埋もれてしまうニーズも掘り起こし・・・私たちの歩みとともに地域づくりが成されていくことが使命でした。

求められる機能はその地域ごと、あるいは時代ごとの制度背景によっても異なります。中核センターはその地域、その時代のニーズにマッチングできるように、その実践スタイルは柔軟に変えてきました。中核センターは地域の社会資源を補完するという意味でも最後のセーフティネットである訳です。

これらの機能を維持あるいは強化していくことは簡単なことではありません。中核センターのコーディネーターは常に研鑽に努めながら、労を惜みず業務にあたっております。総合相談機能を強化するためには地域の関係機関との日常的な連携は必須であり、ひとが変わっても機関連携として倦まず弛まずその体制維持を図っていくことが求められるのです。

このような実践を続け、地域力のひとつの大きな柱として事業展開を10年間続けてこられたのも、千葉県がしっかりと事業継続をしバックアップをしてくれていることに他なりません。この10年間で福祉の時代背景もだいぶ変遷してきましたので、当然、中核センターの役割も変遷していきます。しかし、複雑多岐に渡る地域の諸問題に対応していくためには、築き上げてきた実践力、編み続けてきたセーフティネットはまだまだ強化していく必要があります。

10年が経過する中核センター。これからの10年についても地域の皆さん、そして千葉県とともに考え倦まず弛まず進んでいきたいと思っております。

# 中核地域生活支援センターの地域づくり

柏市地域生活支援センターあいネット  
永桶静佳

柏市は2008年から中核市となり、人口は40万人強、同時にあいネットは柏市の福祉総合相談として受託をしています。地域づくりというテーマは常なる課題で、相談件数が増加傾向で推移しており、その対応に埋没しがちなところがあります。1市ですから関係各課の連携会議への出席や、イベントの協力など求められる機会は増えています。民間の取り組みでは、「かしわ障害者をむすぶ会」は障害当事者・家族団体や福祉サービス事業者などで構成されている任意団体の事務局と運営委員として協力し、現在、会で行っているのが「災害時における障害者支援活動」です。柏市で行われている「柏市災害時あんしんマップ地図」や「携帯型防災カード」、「K-ネット」だけでは多様な障害の個々のニーズには対応しきれないという課題に向けての取り組みです。平成25年に社会福祉協議会の地域課題解決活動助成を受け、企画委員会を設置、次の4つに取り組んでいます。

1. 当事者や家族、障害福祉サービス事業所へのニーズ調査。
2. 二次避難所としての協力先と「二次避難所の表示プレート（ステッカー）」の作成（対象：障害サービス事業所、個人等）
3. 災害時サポートブックの作成
4. 防災マップ及び資源リストの作成



むすぶ会に所属する団体は市内の約30団体、

柏市中心身障害者福祉連絡協議会との協力を得て調査を行い、その結果。

平成26年7月現在では、避難場所の登録数：65（事業所45、個人20）

うち夜間受け入れ可能：24

宿泊可能日数：1日＝7、2～3日＝7、何日でも＝3（うち個人が2）

ここでいう二次避難所は、「ちょっとした厚意があればだれでもできる、数時間でも受け入れができる、雨風をしのげるようなレベルからの協力」を考えています。また、この活動は、助成金の範囲でモデル的に実施し、行政や社会福祉協議会等による本格的な活動に継承することで、持続的な災害支援にしていこうと考えています。地域づくりのテーマとして「災害」は地域住民の共通課題であり、地域での取り組みが重要です。このほかに、コミュニティエリアごとのお祭りなどにも参加して顔の見える関係づくりを目指しており、あいネットの広報紙「じんけん」ぽんでも紹介など広報・後方支援として行っています。

※ 今回は、千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会 準会員であり、同様の機能を有する柏市地域生活支援センターあいネットさんに執筆いただきました。

# ちば・元気印！～こんなひとたち、見つけた～

## 家庭訪問型子育て支援 ホームスタート・ゆっくっく

NPO 法人子育てネットワークゆっくっく 理事長 板垣光子氏  
野田市で「子育て中の誰もが、笑顔で楽しく子育てができますように…、そして何よりも幸せな子育てができますように…」 「子どもの虐待問題等による不幸な出来事が起きる前に、未然に予防するために…」と家庭訪問型子育て支援活動をされている『ゆっくっく』をご紹介します。

平成24年11月から始められた『ホームスタート』は、子育ての事で「どうしていいかわからない…、だれか側にいてくれたら…、だれか話を聞いてくれる人がいたら…」と困った時、訪問ボランティア「ホームビジター」が家庭訪問して傾聴支援及び、家事育児を親と一緒にしてくれる支援です。



お子さんの対象は0才から6才(未就学児)。

ビジターは研修を受けた子育て経験のある人で、週に1回2時間・4回程度訪問をし、戸外での遊び・買い物・食事作り等々を良き友人として一緒にしていただけます。利用料は無料・利用時間は応相談。中核センターのだネットもプロジェクト委員として参加。

### ■子育て支援団体ゆっくっく・その他の活動

#### \*ゆっくっくサロン(あそびの場)・野田市岩名2-9-14

利用日・月・火・水・木・金 10:00~15:00 利用料・年会費 1,500円

一時預かり保育・600円他/時間 (月ぎめ預かりもあり)

#### \*サポートまあ〜ま(忙しいママをお手伝いします。)

一時預かり保育・月ぎめ預かり保育

自宅、企業、各団体の催物における保育スタッフの派遣を行っています。

#### \*野田市委託事業

##### ・二川つどいの広場・野田市東宝珠花237 いちいのホール3階

関宿地区にある0才から3才の子どもが遊べる場所、親子交流、子育てに関する相談や援助、子育て関連情報の提供、子育て講演会等を実施しています。

休み…土・日・祝日・年末年始、利用時間 10:00~16:00 利用料・無料

##### ・野田市訪問型一時保育事業

子育て中の親が病気になった時等、自宅に出向いて保育を行います。

利用料・平日4時間 1,000円、休日4時間 1,200円 (3日前に児童家庭課に申請)

子育てネットワークゆっくっく

〒278-0055 千葉県野田市岩名2丁目9番地の14

電話・FAX 04-7129-8089



## ちば・地域発 ～県内ア・ラ・カルト～

### 計画相談を上手に使った私の暮らし

**[内 容]** 障がいのある人が、より自分の望む暮らしが実現するために利用するシステムとして、全国に相談支援事業が展開されています。中でも計画相談は、ライフステージにおいて様々なサービスを使いながら自分らしい生活を作り上げて行く上で欠かせないものと認識します。この機会にぜひ考えてみませんか？

**[プログラム]** 講演『計画相談、こう使おう』

講師：社会福祉法人 唐池学園 貴志園園長 富岡貴生氏

シンポジウム（指定発言）

**[日 時]** 平成26年11月22日（土）13:00～16:30

**[場 所]** 船橋市役所 11 階大会議室（船橋市湊町 2-10-25）

**[参加費]** 資料代として500円 **[定 員]** 100名（要申込み・先着順）

**[申 込]** 氏名・所属・連絡先を下記問合せ先まで電話・FAX・E-mailにてお申し込みください。

※ 要約筆記・手話通訳（定員なし）・保育（先着順10名）が必要な方は11月7日までに下記問合せ先までお知らせください。

**[問合せ先]** ぷらっと船橋 Tel：047-495-6777 FAX：047-495-6776

E-mail：[flat-funabashi@key.ocn.ne.jp](mailto:flat-funabashi@key.ocn.ne.jp)

### 第7回地域づくりフォーラム

#### 人それぞれの暮らしと遊び

**[内 容]** 今回の地域づくりフォーラムでは、地域での暮らしそのものを、障害をお持ちの方々の視点を考えながら取り上げてみたいと思います。ぜひご参加ください。

**[プログラム]** 基調講演『暮らしの彩りとしての遊びと意思決定支援』

講師：名川勝氏（筑波大学講師／NPO法人PACガーディアンズ理事長）

第1部：暮らしと遊び、現場から話題提供

第2部：みんな何してる？どうしたい？ 会場から50人！1分間トークリレー

第3部：やってみよう！こんなことあんなこと みんなでわいがやトーク

**[日 時]** 平成26年11月16日（日）12:30～17:00（開場12:00）

**[場 所]** クロス・ウェーブ幕張（千葉市美浜区中瀬 1-3 幕張テクノガーデンA棟）

**[参加費]** 2,000円（学生1,000円）※ 当日支払 **[申込締切]** 11月7日（金）

**[申 込]** 氏名・所属・連絡先をご記入のうえ、下記問合せ先までFAXにてお申し込みください。

※当事者・学生の方はその旨をお書き添えください。

※車椅子利用の方、手話通訳必要な方はその旨をお書き添えください。

**[問合せ先]** 地域づくりフォーラム実行委員会事務局（NPO法人 ぽびあ内）

Tel：0438-60-7521 FAX：0438-60-7522

発行元：千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

事務局：長生ひなた（長生圏域）茂原市長尾2694

TEL:0475-22-7859

FAX:0475-22-7844

編集：いちほら福祉ネット（市原圏域）市原市東国分寺台3-10-15

TEL:0436-23-5300

FAX:0436-23-5225

※内容についてのお問い合わせは、いちほら福祉ネット（担当：高地）までお願いします。